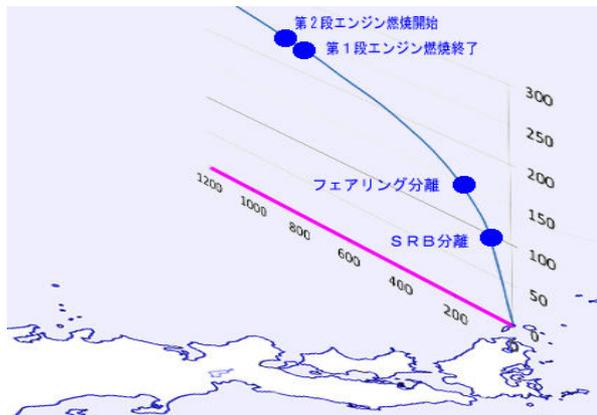


夜間飛行再び H-IIA45号機

2021年12月22日の夜にH-IIAロケット45号機がインマルサット6を搭載して打上げられることになりました。今回はH-IIAロケットのブースター4基構成(H-IIA 204)の最終便ということで、有終を飾る打上げとなっています。

また、うれしいことに今回も夜間打上げということで、天候がよければ自宅からも遠く光跡がみえる可能性があり、期待が高まります。

早速にどんなふうに見えるのか調べ始めたところ、今回は商業打ち上げのためか、詳細なプレスキットが公開されておらず、シーケンスがよくわかりません。そこで過去にどこからかダウンロードしてきた“H-IIA User's Manual”を参考に、フライトの様子を予想し、計画を立てました。



さて、本番の打ち上げは、当初の予定から1日ずれて、22日の23時30分となりました。平日のため、翌日の仕事のことを考えると夜更かしはこたえるのですが、この程度の時間ならばあまり差支えもありません。また、天候の方は申し分なく、地平線まで雲が皆無かつ透明度も高くほぼ完璧のコンディションに恵まれ、期待しながらベランダに三脚を並べて撮影の準備を行い、打上げを待つことにしました。

ところが、パソコンの前でライブ配信の開始を待っていても、いっこうに中継が始まりません。よくよく調べてみると、ツイッターの情報では1時間9分前にカウントダウンがストップしたとの

ことで、予想外の待ちぼうけに会いました。

さて、このまま翌日以降に延期になるのかそれとも時間を遅らせて打ち上げられるのか、よくわからないまま所在なく待機していると、1時間遅れの0時30分打ち上げでカウントダウンが再開され、ライブ配信もスタートしました。

かくして、夜なべ決定であります。

カウントダウンが進む中、パソコンの前とベランダを何度も往復するうち、やがて打ち上げ時刻の0時30分になって、ライブの方ではロケットは無事に打ち上がり、闇の中を宇宙に向けて飛翔していく姿が映し出されていました。

一方、当地からは、打ち上げから2分30秒後にロケットが地平線から姿をあらわすことになっていて、この時刻は、ちょうどH-IIAロケットがSRBを切り離し、一段ロケットのみで飛翔を続けている時刻にあたります。やがてカメラのモニターにオレンジ色の光点があらわれ、南に向かって飛翔していく様子が確認されました。当地からはロケットまでの距離が約650kmと遠いので、本当に仄かな光ですが、空を駆け上がっていくロケットの光かと思うとなぜか力強さを感じる光に見えました。



その光を追いかけていくうち、ロケットは高度を上げ、やがて3分30秒のあたりで暗くなって視認することができなくなりました。このときのロケットの高度は150Kmに達していると思われる、これは想像ですが、大気圧が下がるにつれ

てロケットから噴射されるガスの高温部の広がり
がなくなっていったのかと考えています。

その後、WEBの情報では、衛星は予定の軌道
に投入されたということで、打上げは成功裏に終
わったことが報じられていました。

かくして、今回もロケット打ち上げの遠距離観
望は成功でした。遠くからとはいえ、ライブで打
ち上げを見るときのドキドキ感はなかなか楽しい
ものです。それでもやはり、機会ができれば種子
島に打ち上げを見にいきたいなあと思っています。

未踏の蒼穹 ジェイムズ・P・ホーガン

2010年に亡くなられた、ハードSFの巨匠J.
P. ホーガン氏の未訳の小説が3年ぶりに発刊さ
れました。今回の物語は、ヴェリコフスキーの宇
宙観を背景に用いているところがどうにも馴染み
にくいところではありますが、登場人物のキャラ
クターといい、ストーリーの展開といい、ホーガ
ンらしさが溢れていて、安心して読み進められま
す。もう出ないのかと思っている絶妙のタイミン
グで新しい邦訳が出てくるので、本屋さんで新刊
を発見するととても嬉しい気持ちになります。未
訳の小説はまだ4作くらいあるらしいので、これ
からも気を長くして待っていようと思います。



双眼鏡用の簡易一脚 ただの棒

双眼鏡で星空を観察するとき、低倍率であって
も手持ちだと視野がブレてしまって詳しい観察が
難しくなります。こんなときには、ピノホルダー
を取り付けて三脚に固定するとか、壁によりかか
ったりするとかで視野を安定させるのですが、ど
んなときにも使える方法はないものかと漠然と考
えていました。そんな折にふと100円ショップ
巡りをしていて発見したのがこのツッパリ棒であ
ります。使い方としては、ちょっと低めの椅子に
腰かけて、この棒を両足の間に挟んだ状態で地面
に立て、その上に双眼鏡を載せて覗くという塩梅
です。ツッパリ棒はねじることによって長さを変
えることができるので、目の位置に合わせて簡単
に高さを調整することができて、かつツッパリ機

構のスプリングが微調整の作用もするので、結構
快適に星空を観察することができました。

本来の用途とは全く違いますが、安くてかつ車
に放り込んでおいても邪魔にならないので、おす
すめの小物であります。



雑記帳

22年1月15日に南太平洋のトンガ王国にあ
るフングトンガ・フンガハパイ火山が大規模な
噴火をし、約8時間後に想定外の津波が沿岸を襲
いました。その原因は、火山噴火に伴う気圧波で
あるといわれていて、試みにアメダスデータを気
象庁のHPから拾ってきてグラフ化してみると、
気圧変化(1hPaくらい)が北から南に向かって走
っている様子が見てとれました。さらに気圧変化
のピークをグラフ化すると、このピークは秒速約
300メートルでやってきたこともわかりまし
た。EXCELはとても楽しいおもちゃです。

